

一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2012年7月、8月合併号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

平成24年度定時総会が開催されました

平成24年度の定時総会が7月26日(木)東京高専で開催されました。総会では平成23年度事業報告及び決算、平成24年度事業計画及び予算が承認されました。

役員では、西野理事、岡林理事が退任され、横田理事、菊池理事が就任されました。他の役員は平成23年度就任された方々が継続して務められます。



開会の挨拶をされる大田会長

特別講演会を開催しました

恒例の特別講演会では、東日本大震災による原発事故以降、日本国中を揺るがしているエネルギー問題について、地球上のエネルギー・資源の調査・解析を行っている専門家をお招きしてお話を伺いました。今回は日揮株式会社経営戦略室の近松伸康博士に『最近の資源エネルギー開の現状と将来展望』と題してご講演いただきました。近松博士は化学品の製造プロセス開発の専門家、近年は既存ビジネスおよび新規ビジネスのための外部環境調査・解析に従事しておられます。



日揮株近松伸康博士の講演

講演では、地球上の油およびガスの埋蔵量、需給、価格、電力の動向、資源開発の現状と課題(シェールガス、業界プレーヤー、投資動向ほか) 将来の展

望などについて、大変分かりやすくお話をいただきました。電力供給には石炭が石油よりも寄与していること、福島第一原発の事故収束の如何が今後の世界のエネルギー政策にも影響を及ぼしかねないことなど、大変勉強になりました。

感謝状を授与されました

24年度定時総会終了後、東京高専校長古屋一仁先生から本会の大田吉彦会長に感謝状が贈られました。本会が長年にわたり、東京高専の教育研究支援に貢献したことに対してのものです。

毎年東京高専4年生および専攻科1年生のインターンシップでは全学生の4分の1から3分の1に当たる50人から60人の学生を本会会員企業が受け入れています。共同研究は毎年5~10件に上ります。専攻科2年生の特別研究発表会では、優秀発表学生を表章するとともに懇親会を主催して専攻科生の労をねぎらっています。さらに、地域の若手技術者対象の技術講習会『匠塾』を東京高専および多摩信用金庫とともに主催し、地域貢献にも寄与しています。



古屋校長(左)から感謝状を受ける大田会長(右)

懇親会

特別講演会終了後、中国料理『海苑』に場所を移して、懇親会を行いました。特別講演会講師の近松先生にもご出席いただき、30人の会員の皆様と楽しい時間を過ごしました。



懇親会風景

平成 24 年度の役員は次の通りです

会長 大田吉彦 (株)ニレコ
副会長 安藤 磐 ユーキャン(株)
三谷知世 東京高専
理事 芦田春幸 (株)テクノメイト
伊藤國吉 合同会社微細加工研究所
岡村明彦 (株)スリーボンド
菊池功 (株)菊池製作所
濱田和幸 システム・インスツルメンツ(株)
古瀬智之 (株)コスモ計器
横田克行 (株)エリオニクス
町田茂 東京高専
大塚友彦 東京高専
加藤格 東京高専
佐々木桂一 東京高専
監事 山田親義 市町村土木計画(有)

イマジンカップ 2012 世界大会で準優勝

東京高専の専攻科 2 年生を中心とするチーム『Coccolo』はオーストラリアのシドニーで 7 月に開かれたイマジンカップ 2012 世界大会ソフトウェアデザイン部門で準優勝を果たしました。イマジンカップはマイクロソフト社が主催するプログラミングのオリンピックとも言われ、世界 180 の国と地域の約 35 万人の学生が参加する年 1 回のイベントです。Coccolo は 4 月に行われた日本大会で優勝を飾り、世界への切符を手に入れました。LED を使った省エネ型の照明システムの提案で、昨年の全国高専プログラミング大会で最優秀賞を授与されたテーマをさらにブラッシュアップして本大会に望みました。全て英語のプレゼンテーションで審査員と観客を魅了しました。世界大会準優勝の成績は日本初の快挙で、世界で通用するトップエンジニアの育成を目指す東京高専にとって大きな励みになりました。ちなみに、優勝はウクライナ、第 3 位はポルトガルでした。



ファイナルプレゼンテーションの様子

出典: <http://weekly.ascii.jp/elem/000/000/097/97597>

チーム Coccolo が平野文部科学大臣を表敬訪問

イマジンカップ 2012 世界大会で準優勝を果たしたチーム Coccolo の 4 人の学生が、7 月 19 日(木)平野文部科学大臣を表敬訪問し、今回の快挙の報告をしました。実際に装置を持ち込んで大臣の前でデモも行いました。平野大臣からお褒めの言葉とともに表彰状を頂き、学生達にとって感激の 1 日になりました。



平野文部科学大臣を囲んで記念撮影

平野文部科学大臣が東京高専を視察されました

イマジンカップ準優勝の興奮冷めやらぬ東京高専を、7 月 20 日(金)平野文部科学大臣が視察されました。古屋校長の概要説明の後、実験実習の様子を見学され、学生にも話しかけられました。平野大臣はもともと理系出身で、実験装置等は特に大変興味深かったようです。変革に対応する優れた教育がなされているとの感想を述べられました。

中央教育審議会で高専について高い評価がなされ本年 5 月には森口文部事務次官が東京高専を視察されました。また、昨年 8 月には東京高専がワシントンポスト紙の取材を受け、高専礼賛の記事が 10 月に掲載されました。このように、最近になって国内外で高専に対する注目度がアップしています。このような評価に甘んじることなく、よりよい教育を目指すことが求められています。

事務局より

昨年続き、今年の夏も猛暑となりました。電力事情が逼迫する中、会員企業の皆様におかれましても様々な節電の取組をされていることと思います。今後、日本が原子力をどのように位置づけるかは、世界も見守っています。近松博士の特別講演でも福島第一原発の事故処理の如何が、世界のエネルギー事情に少なからぬ影響を与えるとの指摘がありました。

技術懇談会では会員の皆様からのご要望を受けて、様々な活動を行っていく予定です。是非ご意見をお寄せ下さい。mitani@tokyo-ct.ac.jp